

議事録

審議会名	令和4年度 第1回 杉戸町文化財審議会
開催日時	令和5年3月11日(土) 午前10時00分～12時00分
開催場所	杉戸町役場 第1庁舎3階 会議室
会議の議題	報告 (1) 令和3年度杉戸町文化財事業実績について (2) 令和4年度杉戸町文化財事業計画について 議題 目沼地区発見の盾持人埴輪の町指定文化財について(諮問)
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開 (公開の場合傍聴者数 2人)
	(非公開の場合理由)
出席者氏名	長堀榮副会長、松本邦雄委員、寺田竹雄委員、青木秀雄委員、田原昇委員、三原康之委員、野口憲治委員

審議の概要

1. 開会

2. 社会教育課長あいさつ

3. 報告

(1) 令和3年度杉戸町文化財事業実績について

① 発掘調査活動事業

- i 発掘調査活動事業(確認調査13件、試掘調査2件、本調査1件、整理作業1件、分布調査1件)
- ii 杉戸町文化財調査報告書第25集刊行
- iii 令和3年度杉戸町包蔵地マップ刊行

② 文化財保護活動事業

- i まなびっチャすぎと(杉戸町立泉小学校児童、杉戸宿案内人の会、子ども大学すぎと参加者を対象に実施)
- ii 文化財等整備補助
 - ・大島有隣遺跡(恭儉舎保存会)
 - ・大塚神楽(大塚同志会)

- ・茨島はやし（茨島囃子保存会）
- ・復元古代住居（古代住居保存会）

iii 文化財説明板の修繕3か所、新規設置1か所

- ・宰住山正明寺（修繕）鷲巢 868（同寺境内）
- ・宝椿山倉常寺（修繕）椿 178-1（同寺境内）
- ・北小学校跡地（修繕）北小学校跡地グラウンド入口付近
- ・豊明神社古墳（新設）犬塚 222

iv 指定文化財整備

- ・日光御成街道一里塚（除草作業）
- ・目沼浅間塚古墳（除草作業）
- ・下野の森（中川低地の河畔砂丘群）（除草作業）
- ・目沼浅間塚古墳北西側の土地の寄附を受ける（目沼 318-15、318-16）
- ・下野の森南側の土地の寄附を受ける（下野 849）

③ 文化財庶務

- 埼玉県文化財保護協会活動
- 東部地区文化財担当者会活動
- 埼玉県地域史料保存活用連絡協議会活動

(2) 令和4年度杉戸町文化財事業計画について

① 指定文化財

- 町内指定文化財の保存管理
 - ・日光御成街道一里塚・目沼浅間塚古墳 下野の森
- 文化財環境整備費補助金、助成金の交付
 - ・大島有隣遺跡、大塚神楽・茨島はやし他
- 恭儉舎の修繕
- 下野の森、寄附を受けた土地の天然記念物追加指定への準備

② 埋蔵文化財

- 開発行為に対する調整（通年）
 - ・照会は1日3～4件
 - ・試掘・確認調査（令和4年度は既に確認調査を26件、試掘調査2件、立会調査1件、実施）
- 本発掘調査予定

- ・国庫補助事業
- ・町単独事業

③ 普及・啓発事業

- i 文化財歴史講演会
 - ・米沢女子短期大学 原淳一郎教授「江戸時代の庶民の旅」(西公民館研修室)
- ii 各学校への出前講座
 - ・社会教育課職員「宿場について」出前講座(杉戸小学校4年生)
- iii すぎと町民大学への出前講座等、他担当との連携

④ 文化財庶務

- ・質疑応答・提案

(委員)

令和3・4年度の確認調査において、自然堤防上の遺跡において人工堤防が多数検出されていると報告があったが、過去のデータを集めて人工堤防の範囲を割り出してはどうか。また、人工堤防の土やその上層の砂質層の分析を行い、宮代町等の周辺自治体のデータと照らしあわせれば、河畔砂丘の形成過程や利根川流路等に関して新たな知見が得られると思われる。

(事務局)

現担当者が行った発掘調査分のデータに関してはすぐに集められますが、前任者以前のデータを集めるのは時間を要します。今後の発掘調査においてデータを蓄積していきながら、過去のデータもまとめたいと思います。また、「人工堤防」という用語に関しては見直す必要があるかもしれません。

4. 議題

目沼地区発見の盾持人埴輪の町指定文化財について(諮問)

※実際の盾持人埴輪を展示し、「目沼地区発見の盾持人埴輪の町文化財指定について」の諮問について、審議委員に意見を求める。

(委員)

近隣での盾持人埴輪の出土事例はあるか？

(事務局)

県内でも出土事例が多いわけではなく、特に埼玉県東部地域では珍しいです。また、県内の優品を見渡しても盾持人埴輪の顔部分が綺麗に残っているものは非常に稀であり、当該品の残存状況は良好であると言えます。

(委員)

埴輪の年代や焼かれた窯などは特定できるか？ また具体的な特徴にはどのようなものがあるか？

(事務局)

推定年代はおそらく5世紀末～6世紀初頭のものと考えられます。焼成した窯に関しては現

在不明です。

当該品の特徴ですが、首から下を見ると四条のタガがあり下総型の埴輪の特徴を有するものの、下総型の人物埴輪のように鼻筋が通った端正な顔立ちではないので、地域性を感じられます。盾部分には赤彩の痕跡が残り、盾部分には複合鋸歯文をイメージしたであろう文様が見られます。この文様は、西日本から情報が伝わる過程で崩れていったものと考えられます。

(委員)

展示場所はエコ・スポいずみか？ 現在欠けている部分は今後調査によって見つかる可能性はあるか？

(事務局)

エコ・スポいずみ展示室に展示する予定です。今後学術調査の機会があれば、埴輪の残部が出てくる可能性があります。また、残部の出土を想定し、樹脂による復元は予定していません。なお、埴輪が出土した箇所にも古墳が所在する記録はないですが、当該品が出土しているため、未知の古墳が所在する可能性が極めて高いと思われます。

(委員)

どのような形態の古墳が考えられるか？

(事務局)

周辺古墳から鑑みると、前方後円墳、円墳等の可能性があります。しかしながら、現在の情報からは特定できません。出土した盾持人埴輪からして、かなり大規模な古墳があったとは考えられます。

(委員)

出土状況等がわかるデータはあるか？

(事務局)

農作業中に偶然町民によって発見され、後に寄贈されたものなので、当時の状況を伝える写真等はありません。とはいえ、聞き取りによって出土地点は概ね把握ができています。農閑期を見計らって学術調査が実施できればと思います。

(委員)

指定に向けて、図面等は揃っているか？

(事務局)

三次元計測は実施済、他の実測作業等に関しては今後可能な範囲で進めていく予定です。

(委員)

町指定文化財として十分な優品である。今後は付属する図面の作成や、学術調査の実施や、指定に向けた準備を続けてほしい。

(事務局)

ご教示いただいた通り、今後も指定に向けた準備を進めていきます。

※議事終了、その後連絡事項を伝える。


5. 閉会

以上をもって全ての議事を終了したので、会長より閉会を宣言し解散した。
上記の議決を確認するために、議事録署名人は、署名、捺印する。

令和 5 年 6 月 21 日

令和 4 年度第一回杉戸町文化財保護審議会

議事録署名人

寺田 竹雄 

議事録署名人

青木 秀雄 